

令和5年度鹿児島県がん診療連携協議会議事要旨

1. 日 時：令和 5年11月16日（木） 15：00～ 16：10

2. 会議形式：オンライン（Zoom）会議

3. 開会挨拶

上野センター長より、開会に先立ち挨拶があり、続いて、鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課の黒崎課長より挨拶があった。

4. 議題等：

（1）令和5年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

①中筋診療情報管理士より、【資料1-1】により、がん登録部会からの報告があった。

②野島看護師より、【資料1-2】により、情報提供・相談支援部会からの報告があった。

③永田看護師長より、【資料1-3】により、緩和ケア部会からの報告があった。

④上野センター長より、【資料2】により、第1期から第4期がん対策推進基本計画の概要や鹿児島県におけるがん拠点・指定病院等の現状等の説明があった。第4期がん対策推進基本計画では全体目標として、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」となっている。また、鹿児島県のがん対策推進計画を作成中で、間もなくワーキンググループが最終的な結論を出して会議で承認されることになるとの報告があった。【資料3-1】により、小児・AYAがん対策の概要や小児がん連携病院の現状について説明があった。特に妊孕性温存療法について、鹿児島県も補助事業が始まり、今年度第1回四部門合同研修会でも県の妊孕性温存療法研究促進事業等の講演を実施したとの報告があった。【資料3-2】により、がんゲノム医療とデータ利活用について説明があった。がんゲノム検査を始めた2019/10から2023/10までのC-CAT登録数が鹿児島大学病院551件、相良病院63件、鹿児島市立病院124件であるとの報告があった。【資料4】【資料5】により、第4期がん対策推進基本計画における指標案とロジックモデルの活用方法等についての説明があった。

（2）各部門からの報告

①野島看護師より、【資料6-1】により、がん相談・連携部門の活動報告があった。活動として、3つのグループ編成で活動しており、研修企画グループにおいては、今年度3回の研修を実施する予定であり、すでに2回の研修を実施したとの報告があった。広報周知グループにおいては、がん相談支援センターポスター等の活用やかごしま県がんサポートブックの継続的な活用を行っているとの報告があった。活動評価グループにおいては、NPO法人がんサポートかごしま主催の「つながる想い」のイベント参加者等へがん相談支援センタ

一周知度アンケートを実施し、知っている：63%、利用したことがある：11%であったとの報告があった。

②永田看護師長より、【資料6-2】により、がん緩和医療部門の活動報告があった。今年度第1回部門会における2件の協議事項及び3件の報告事項について説明があった。2件の協議事項については、コロナ禍での緩和ケア病棟への影響について、霧島医師会医療センターより患者や医療者側への影響等の報告があり、今後の有事に備えて話し合いがなされた。協議事項のもう1件について、ピアレビューのこれまでの活動と今後の活動について話し合いがなされ、結果として、ピアレビューは廃止することで決定したとの報告があった。報告事項については、鹿児島地域連携会議看護カンファレンス報告、都道府県指導者養成研修受講報告、鹿児島 ACP 推進プロジェクト委員会の活動報告があった。

③中筋診療情報管理士より、【資料6-3】により、がん登録部門の活動報告があった。がん登録体制の整備、実務者の情報交換の場、データの精度管理と情報提供に対して、活動を進めているとの報告があった。また、活動方針や活動体制等については、情報制度管理 WG と情報可視化 WG を中心に活動するとの報告があり、併せてがん登録部門会の活動体制の見直しを行ったことの報告があった。

④鈴木副センター長より、【資料6-4】により、化学療法部門・ゲノム医療部門の活動報告があった。鹿児島大学病院の化学療法室総利用件数は右肩上がりに増加しているとの報告があった。また、がん遺伝子パネル検査は2018/6から2023/7までに553症例となっているとの報告があった。更に、がんゲノム医療拠点病院に2023年4月から4年間、再度指定されたとの報告があった。

5. その他（意見・質問等）

意見・質問等は無かった。

6. 閉会挨拶

鈴木副センター長より閉会の挨拶があった。